３　道徳の時間（本時）と他の教育活動との関連

＜場の内容・ねらい＞　　＜児童の意識＞　　＜指導・援助＞

学級活動（１１月）
「２学期のやりきり目標を決めよう」
・自分の今の姿を見つめ、自分をどう高めていくのか考えをもたせる。

【日常の活動】
〇帰りの会
・意図的に自分や仲間の目標を達成するために、努力を続けている児童を紹介し、価値付ける。

〇家庭学習
・決められた内容の他に、自分で目標を決めて、自主的に学習に取り組ませる。

・自分で決めた目標だから、最後まで粘り強く努力したい。
・目標をやりきって２学期を終えたい。
・目標は決めたものの続けるのが苦しい時があるけれど、みんなのためにあきらめるわけにはいかない。

・一人一人の目標について、日常の取組の状況を把握して認め励ます。
・児童が自分の取組を「振り返りカード」に記録して確かめられるようにする。

教科等
・「できるようになりたい」という児童の願いを大切にし、教科等の学習に粘り強く取り組ませる。

・今日の〇〇は難しい問題だったけど、あきらめずに考えることができた。
・ついつい、自主学習が面倒になって、休んでしまうことがある。

・教科の学習では、終末の時間を確保し、学習内容の定着を図る。
・自主学習のよい取組を紹介し、励みになるようにする。

道徳の時間（１１月）
「うちかつ心ー中村久子」
内容項目　１ー（２）
・困難に直面してもあきらめずに最後までやり抜くことが達成感や成就感につながることに気付き、自分でやろうと決めたことを粘り強くやり遂げようとする心情を育てる。

・自分で決めたことでも、途中であきらめてしまうこともある。
・しかし、粘り強くやりぬくと、自分の成長につながる。
・自分で決めたことを最後までやり抜けるようになりたい。

・「誰かに頼りたい」「困難から逃れたい」と思いながらも、着物をほどく仕事をなげ出さず、粘り強くやり抜いた久子の気持ちを考えることで、難しくてもあきらめずにやり抜くことの大切さに気付かせる。

〇家庭との連携
・２学期の目標について振り返った後、「わたしたちの道徳」の「目標に向かってがんばり続けるひけつ」（Ｐ.２３）を読み、ひけつについて家の人に取材し、やりきるために何が必要かを明らかにする。

学級活動（１２月）
「２学期の宝物を振り返ろう」
・自分の２学期の成長を振り返り、目標の達成に向けて努力できたことを確かめさせる。

・粘り強くやり遂げたことで、２学期には、自分はこれだけ成長できた。あきらめずに、がんばってよかった。
・これからも、努力を続けていこう。

・一人一人が成長を感じられるように、成果となる事実を残しておく。
・わずかな達成でも成長であることを価値付ける。